

Durée : 6 heures

Analysez et commentez, en japonais les textes suivants :

2002年1月8日付 朝日新聞

質問と回答

(数字は%。小数点以下は四捨五入。質問文は一部省略した。年月とカッコ内の数字は同じ質問をした最近の調査の時期と結果)

◆あなたは、今の政治に大いに不満がありますか。少しは不満がありますか。不満はありませんか。

	00年
	12月
大いに不満	27(44)
少しは不満	52(44)
不満はない	15(7)
その他・答えない	6(5)

◆あなたはいま、どの政党を支持していますか。

自民党	34
民主党	7
公明党	4
自由党	2
共産党	3
社民党	2
保守党	0
その他の政党	0
支持政党なし	41
答えない・わからない	7

◆今の世の中を表すのに、ふさわしいと思われる言葉がありましたら、一つだけあげてください。(回答カードから一つ選ぶ=択一)

	00年
	12月
安定	9(6)
自由	4(5)
自己責任	12(11)
変革	10(7)
身勝手	15(17)
不公平	13(12)
混迷	27(30)
崩壊	4(6)
その他・答えない	6(6)

◆いまの日本は安全に暮らせる国だと思いますか。そうは思いませんか。

安全に暮らせる国	47
そうは思わない	46
その他・答えない	7

◆安全に関するそれぞれのことについて、どれだけ不安を感じているかおうかがいします。(択一)

◇病気やけが	
大いに不安を感じる	24
少しは不安を感じる	52
あまり不安を感じない	19
まったく不安を感じない	4
その他・答えない	1

◇食べ物の安全性

大いに不安を感じる	27
少しは不安を感じる	46
あまり不安を感じない	19
まったく不安を感じない	7
その他・答えない	1

◇収入の減少や失業

大いに不安を感じる	51
少しは不安を感じる	30
あまり不安を感じない	11
まったく不安を感じない	5
その他・答えない	3

◇犯罪や交通事故

大いに不安を感じる	50
少しは不安を感じる	39
あまり不安を感じない	7
まったく不安を感じない	2
その他・答えない	2

◇プライバシーの侵害

大いに不安を感じる	22
少しは不安を感じる	42
あまり不安を感じない	27
まったく不安を感じない	7
その他・答えない	2

◇自然災害

大いに不安を感じる	27
少しは不安を感じる	46
あまり不安を感じない	21
まったく不安を感じない	4
その他・答えない	2

◇環境破壊

大いに不安を感じる	43
少しは不安を感じる	42
あまり不安を感じない	10
まったく不安を感じない	2
その他・答えない	3

◇情報通信システムのまひ

大いに不安を感じる	21
少しは不安を感じる	40
あまり不安を感じない	26
まったく不安を感じない	6
その他・答えない	7

◇原子力発電所の事故

大いに不安を感じる	40
少しは不安を感じる	35
あまり不安を感じない	18
まったく不安を感じない	5
その他・答えない	2

◇戦争やテロ

大いに不安を感じる	52
少しは不安を感じる	33
あまり不安を感じない	11
まったく不安を感じない	3
その他・答えない	1

◆アメリカで起きた同時多発テロで、あなたの安全に対する考え方は変わりましたか。変わりませんか。

変わった	60
変わらなかった	36
その他・答えない	4

◆同時多発テロのあと、飛行機に乗るのがこわくなりましたか。そんなことはありませんか。

こわくなった	50
そんなことはない	43
その他・答えない	7

◆あなたや、あなたの家族が病気になったとき、安心して診てもらえる開業医や病院がありますか。

ある	59
ない	36
その他・答えない	5

◆あなたの住んでいる地域では、急病になったときなどの救急医療体制は十分だと思いますか。そうは思いませんか。

十分だ	39
そうは思わない	47
その他・答えない	14

◆食品を買うとき、原材料や添加物の内容表示を確かめるほうですか。気にしないほうですか。

	96年
	5月
確かめるほう	52(48)
気にしないほう	44(49)
その他・答えない	4(3)

◆食品の安全性を考えると、最も重視するのはどんなことですか。(択一)

産地やメーカー	17
防腐剤や着色料などの添加物	36
無農薬や有機栽培など栽培方法	14
牛肉・牛エキスの使用	13
遺伝子組み換え作物の使用	12
その他・答えない	8

◆食品の生産から販売までの安全管理は、以前よりよくなったと思いますか。悪くなったと思いますか。変わらないと思いますか。

よくなった	39
悪くなった	8
変わらない	47
その他・答えない	6

◆定年まで同じところに勤める終身雇用制が一般的な世の中と、転職することが一般的な世の中では、どちらが望ましいですか。

	00年
	12月
終身雇用制	59(52)
転職	30(34)
その他・答えない	11(14)

◆失業者が増えています。失業対策として、国や自治体に最も力を入れてほしいと思うものは何ですか。

(択一)

失業保険の給付期間の延長	22
職業訓練の充実	23
生活資金の貸し付け	8
国や自治体がもっと人を雇う	38
その他・答えない	9

◆警察にどのくらい信用をおいていますか。(択一)

	00年
	3月
信用している	12(6)
ある程度信用している	54(32)
あまり信用していない	24(32)
信用していない	8(28)
その他・答えない	2(2)

◆犯罪や交通事故が増加する傾向にあります。あなたは、犯罪や交通事故の被害にあわないよう、以前に比べて気をつけるようになりましたか。それとも、変わりませんか。

気をつけるようになった	63
変わらない	35
その他・答えない	2

◆犯罪の防止についておうかがいします。地域のつながりが深まれば、犯罪の防止に役立つと思いますか。

そうは思いませんか。	
役立つ	77
そうは思わない	19
その他・答えない	4

◆最近の犯罪を見て、どういところか気になりますか。(択一)

家庭の中で起きている	7
加害者の低年齢化	23
地位や特権を利用している	3
無差別的な犯行	23
衝動的になっている	21
凶悪化している	19
その他・答えない	4

◆阪神大震災のような大地震が自分の住んでいる所で起きるとい不安を感じていますか。特に感じていませんか。

	95年
	12月
感じている	61(65)
感じていない	37(34)
その他・答えない	2(1)

◆環境問題についておうかがいします。この10年で、日本の環境はよくなったと思いますか。悪くなったと思いますか。変わらないと思いますか。

よくなった	11
悪くなった	64
変わらない	23
その他・答えない	2

◆環境のことで問題だと感じていることがあれば、二つまであげてください。(回答カードから選ぶ)

大気汚れ	19
川や湖などの水の汚れ	24
騒音や悪臭	8
ごみ問題	48
森林など自然の破壊	27
地球温暖化	38
酸性雨	3
フロンガスによるオゾン層の破壊	17
その他・答えない	3

◆環境を守るため、特に気をつけていることがあれば、二つまであげてください。(回答カードから選ぶ)

ゴミの減量やリサイクル	71
電気やガスを節約する	28
油や食べ残しを排水口に流さない	44
マイカーに乗るのを控える	7
環境に配慮した製品の購入	23
その他・答えない	4

◆地球環境が悪くなるのを防ぐためには、いまより生活が不便になっても構わないと思いますか。それとも不便になるのは困ると思いますか。

	00年
	12月
不便になっても構わない	52(58)
不便になるのは困る	44(36)
その他・答えない	4(6)

◆インターネットが、いやがらせや犯罪に悪用されることに不安を感じますか。感じませんか。

感じる	77
感じない	17
その他・答えない	6

◆科学技術の進歩は、暮らしの安全に役立つと思いますか。そうは思いませんか。

役立つ	70
そうは思わない	20
その他・答えない	10

◆安全に暮らすために、国は頼りになるといいますか。頼りにならないといひますか。

頼りになる	43
頼りにならない	47
その他・答えない	10

◆10年後の日本は、いまより安全に暮らせる国になっていると思ひますか。なっていないと思ひますか。

なっている	20
なっていない	63
その他・答えない	17

◆これからも日本で暮らしたいと思ひますか。できるなら外国で暮らしたいと思ひますか。

日本で暮らしたい	90
外国で暮らしたい	7
その他・答えない	3

◆インターネットを使っていますか。

使っている	32
使っていない	67
その他・答えない	1

〈調査方法〉全国の有権者から選挙人名簿で3千人を選び、昨年12月9、10の両日、学生調査員が個別に面接調査した。有効回答数は2104人。有効回答率は70%。回答者の内訳は男性48%、女性52%。対象者の選び方は層化無作為二段抽出法。

「暮らしの安全」が揺らいでいる。犯罪や交通事故に不安を感じ、米国で起きた同時多発テロのおおりで、「戦争やテロ」もひとごとではなくなつた。国は頼りになるとは必ずしも言い難いが、これからも暮らしたい国は、やはり日本。朝日新聞社が1978年から年末のたびに実施している定期国民意識調査。今回の結果からは、日々の生活に不安を抱きつつ、自ら「備え」を探り始めた人々の姿も浮かび上がってくる。

(グラフで数字は%、「その他・答えない」は省略)

不安感、6割超える

安全に関する10項目について、どれだけ不安を感じているかたずねたところ、「大いに」と「少しは」を合わせた不安感

一方、年代別で不安感に差が目立ったのは「プライバシーの侵害」。30代前半が8割を超えたの

「大いに不安を感じる」に比べ不安感が強い。

対し、20、30代では10人のうち3人の割合にとどまる。

これも、女性(66%)のほうが男性(59%)より「なっていない」が多く、将来に悲観的な現実が浮かび上がる。

は、いずれも6割を超えた。「犯罪や交通事故」が89%で最も高く、「戦争やテロ」「環境破壊」が各85%で続いた。

男性が女性を超えたのは、「情報通信システム」のまひ」の30代など一部だった。

逆に、「戦争やテロ」では、「大いに不安を感じる」

4割にとどまった。

「安全に暮らせる」という人も、「そうは思わない」という人も、共通しているのは、10年後の日本は今より安全に暮らせる国には「なっていない」と見る人が多い点だ。

ほとんどの方は、これからも日本で暮らしたいと思つている。それも、不安の大きさを見れば、「しかたなく」と、とらえた方がよさそうだ。

国への信頼は二分

男女別では、全項目で、女性が男性より不安を感じる人が多い。とくに「食べ物

かを見てみると、「病気のやけが」など10項目のうち、「収入の減少や失業」「犯罪や交通事故」

では、安全に暮らすために国は頼りになるのか。こちらも全体ではほぼ二分されている。ただ、男性はほぼ半数が

「頼りになる」に對し、女性は「頼りになる」が

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか

「食べ物」の安全性」では女性が83%で、男性の62%を大きく上回つた。

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか

「安全に暮らせない」という人は、何に最も大きな不安を感じているのか